

タイトル名	テストを科学する会社です
企業名/団体名	株式会社 SHIFT
概要	<p style="text-align: center;">シフトは、 欧米のアーキテクト 日本の品質基準・生産性 アジアのリソース</p> <p style="text-align: center;">を活用し、品質保証エンジンを開発している技術者集団です。</p> <p>ソフトウェアの品質保証におけるコンサルティング、効率化を図る仕組みづくりを軸にした事業を展開しております。独自に開発した合格率 3%の難関「CAT 検定」をパスした QA エキスパートからなる技術者集団、IT がもたらす価値を最大限に活用できる QA コンサルタントにより構成されている知的刺激あふれる価値創造集団により、15 万件(年間)の不具合、300 万ケース(年間)のテストナレッジを DB 化、テスト設計の半自動化を実現。某大手 EC サイトのテストにかかるコストを 30%削減するなど、テスト実行の変動費化と総工数の削減という成果を上げ続けています！</p> <p style="text-align: right;">SHIFT</p>

タイトル名	オフショア活用の検証サービス / Neusoft・NEUSOFT Japan 会社紹介
企業名/団体名	NEUSOFT Japan 株式会社
代表者氏名	渡辺 裕人
概要	<p>NEUSOFT は中国 No.1 の IT リーディングカンパニーで、検証業務においても 10 年以上の経験があります。</p> <p>瀋陽、大連の拠点は日本からのアクセスも良く、日本語の分かる検証技術者を多数揃えており、日本企業からのご依頼を数多く成功させてきました。</p> <p>特にここ中部・東海地区では、大手車載機器メーカー様を中心に、数多くの検証実績があります。</p> <p>弊社の特色として、開発チームと協調し、弊社内部で自主的に改善・お客様へ提案しながらテスト設計・品質向上・コストダウン・評価プロセスの改善を継続的に図っている点は高く評価されております。</p> <p>そこでオフショア検証に関して、弊社の会社紹介と検証事例をご紹介します。</p> <p>是非お立ち寄りください。</p>

タイトル名	テストの品質向上ツール ～JSystemCoverage for Unit Test～
企業名/団体名	株式会社富士通九州システムズ
<p>概要</p> <p>◆『JSystemCoverage for Unit Test』は Java アプリケーションのテスト状況を“見える化”（数値化）する、単体テストの品質向上ツールです。</p> <p> <<特徴>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カバレッジの見える化により網羅性を定量的に確認でき、問題箇所を特定できます。 ・単体テストの実行結果を HTML および CSV のレポートとして出力することができます。 ・テストスタイルの流れを変えることなく導入することができます。 <p>◆結合テスト・総合テストの品質向上ツールとして、『JSystem Coverage』もご紹介します。</p> <p> <<特徴>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト中に変更されたプログラムを自動的に検出することができます。 ・複数サーバで構成されたテスト環境でも簡単に情報をマージすることができ、小規模から大規模なシステムまで、広い範囲で適用可能です。 <p>◆ ソフトウェア開発やソフトウェア運用中に発生する障害を管理ができる『SIMPLIA/MF-ProductQ(障害管理)』もご紹介します。</p>	

タイトル名	品質解析・評価ツール AdLint & Adqua をこう使いこなせ！
企業名/団体名	株式会社オービス総研
<p>概要</p> <p>C 言語プログラムの品質を解析するツール「AdLint(アドリント)」を、オープンソースソフトウェア(OSS)として無償で公開いたしました。専用ページからダウンロードいただけます。</p> <p>■AdLint の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AdLint」は、C言語プログラムソースを解析して、不具合の可能性を検出し、また、処理の複雑さを表す「経路複雑度」などの品質メトリクス(品質指標)を測定します。プログラム品質の向上に役立ち、人手のかかるレビュー作業を効率化します。 ・当社が無償提供する品質評価ツール「Adqua」と連携してお使いいただけます <p>■Adqua の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質解析ツールの解析結果を元に、品質特性の観点(「信頼性」、「効率性」、「保守性」、「移植性」、「再利用性」)で 得点化します。要素間の依存関係も把握できるため、設計レベルの問題の発見や改善に役立ちます。 ・ 無償です。但し、年間 1 件以上の測定データの提出をお願いします。 	

タイトル名	Web ツールを用いたテスト実施及びテスト管理の取組み
企業名/団体名	デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
代表者氏名	田中学二
<p>概要</p> <p>ソフトウェア開発が多拠点/多国化(グローバル化)する中で、ソフトウェアテストに関しても、テスト設計とテスト実施を行う拠点が異なったり、テスト実施は海外で行ったりと、多拠点で複数のテストエンジニアが、テストを行う事が当たり前になっております。</p> <p>その中で、テストケース管理をエクセルのみで行う事が困難な状況やテスト管理が十分に出来ない状況が少なからずと発生しています。そこで、弊社に措ける各拠点を活かしたテスト実施及び Web ベースのテスト管理ツールでのテスト管理の取組みについてサンプルプロジェクトをベースにご紹介させていただきます。</p>	

タイトル名	ソフトウェアテスト技術振興活動の紹介
企業名/団体名	NPO 法人ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER)
代表者氏名	吉澤智美
<p>概要</p> <p>ASTER は、JaSST の運営母体組織でもあり、ソフトウェアのテスト技術や品質技術の向上に関する研究開発、普及振興、教育、国際連携、資格認定などの事業を行う特定非営利活動法人です。東京で 2006 年に設立し、今では全国で理事・会員ともにボランティアで活動しています。企業単位でなく、産学のエキスパートが個人として参加しています。(http://aster.or.jp)</p> <p>本ポスター発表では JaSST をはじめ、Test.SSF(テストスキル標準)、テスト設計コンテスト、JSTQB(資格認証制度)、智美塾など、ASTER で行われているさまざまな活動を総括してご紹介します</p>	

タイトル名	データ指向のソフトウェア品質マネジメント
企業名/団体名	ヤマハ(株)
代表者氏名	小池 利和
<p>概要</p> <p>9/12に出版したばかりの同書籍は11個の実際のメトリクス活用事例を掲載しています。 更には、そのデータもWebからダウンロードできるようになっています。</p> <p>本ポスターセッションでは、書籍の内容だけではなく執筆秘話などの ”ここだけ”の話も紹介します。</p>	

タイトル名	TEF 東海合宿
企業名/団体名	TEF 東海合宿実行委員会
<p>概要</p> <p>TEF 東海の勉強会初の合宿を 2012/4/21～22 に静岡県掛川市のつま恋で実施しました。 目的は3つあり、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)周りの知見に触れ、何らかの気付きを得る。 (2)気付きから、現場での改善ネタを考える。 (3)現場で改善ネタを実践し、成果をまとめ、自分から周りへ発信し、新たな気付きを得る。 <p>自分も周りも共に成長できる場としました。</p> <p>取り組んだテーマは下記3点であり、和やかな雰囲気活発な議論ができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> テーマ1:「テスト技法ポジショニングマップ」 テーマ2:「不具合から自分のテスト技法を磨こう!」「ぶちテスト設計を体験してみよう」 テーマ3:「探索的テスト」 <p>本セッションでは、TEF 東海合宿を通じ、気付きやイイね!と思ったことを中心にご紹介します。</p>	

タイトル名	腹の立つバグ票から見たもの～バグ票の目的を考えよう～
企業名/団体名	バグ票ワーストプラクティス検討 Project
代表者氏名	発表:ちかみ かつゆき
<p>概要</p> <p>我々バグ票ワーストプラクティス検討 Project は、開発組織の中で、最の多くの関係者が読み書きする「バグ票」というドキュメントを通して開発組織のコミュニケーションを改善することを目標に活動しているコミュニティです。</p> <p>特に、過去に出会った「腹の立ったバグ票」についての情報をアンケートで集め、その背景を議論しています。人間の記憶はうつろいやすいものではありませんが、一方で「腹の立ったバグ票」は印象に残るものであり、コンテキストの違った人同士でも情報を共有する有力なツールとなり得ます。</p> <p>ここでは、我々が今までに行ってきたワークセッション(※)での議論を紹介し、そこで指摘された「バグ票にいろいろ書くんだけど、なぜこの項目を書かなければならないか良く分からない」という課題について議論したい。</p> <p>※JaSST 東京掲示板企画、WAGATE 夜の分科会、SQiPシンポジウムSIGにて、参加者の皆様にご協力頂きました。ありがとうございます。</p>	

タイトル名	テスト技法を見直してみませんか
企業名/団体名	TEF 東海 原因分析道場
代表者氏名	代表:林 宏昌 (発表者:村木 広大)
<p>概要</p> <p>TEF 東海 原因分析道場では、ドリル本(*1)を使用してテスト技法について議論を繰り広げてきました。そこで、テスト技法を”分かったつもり”になっていたことに気づきました。</p> <p>例えば、「境界値分析というのは端っこが危ないからそこを狙ってテストすればよいのでしょ？」と理解していても、なぜ端が危ないのか、端をテストするだけでよいのか、などは理解できていませんでした。</p> <p>テスト技法をもう一度見直してみませんか？</p> <p>特に思い入れの強いテスト技法をピックアップし、そのテスト技法で本当にやりたいことは何かを中心として、説明したいと思います。</p> <p>原因分析道場で学んだことを一人でも多くの方に伝えられれば幸いです。</p> <p>*1 『ソフトウェア テスト技法ドリル』 秋山 浩一[著]</p>	

タイトル名	ソフトウェアテストワークショップイベント WACATE(ワカテ)のご紹介
企業名/団体名	WACATE 実行委員会 (ソフトウェアテストワークショップ実行委員会)
代表者氏名	山崎 崇
<p>概要</p> <p>WACATE(Workshop for Accelerating CApable Testing Engineers)。「ワカテ」と呼ぶこのイベントは、その名前が示すとおり若手テスト技術者をメインターゲットとしたソフトウェアテストのワークショップイベントです。内に秘めた可能性を持つテストエンジニアたちを加速させるためのワークショップでありたいという思いから名付けられました。</p> <p>日本のソフトウェア産業における品質向上及び学術分野への寄与、得に次代を担う若手技術者の育成をはかるため、2007年12月にWACATE2007を開催しました。その後、参加者からの次回を望む声に応え、翌年の2008年より夏冬の年2回継続して開催しており、今年の冬で11回目、5周年を記念することとなりました。</p> <p>今回は、このWACATEというワークショップイベントがどのようなものであるかというご説明させていただきます。</p>	

タイトル名	高品質テストをしませんか？
企業名/団体名	TEF 東海 原因分析道場
代表者氏名	代表: 林 宏昌 (発表者: 秋谷 勤)
<p>概要</p> <p>高品質なテストをしてみたいと思いませんか？</p> <p>世の中に出ているソフト不具合はテストを通した上で発生しているものです。</p> <p>なぜテストで発見できなかったのか？どんなテストをしていれば見つかったのか？</p> <p>発生した不具合をもとに原因分析をし、高品質なテストを目指す。</p> <p>それが『TEF 東海 原因分析道場』です。</p> <p>原因分析道場では現在来年の活動内容を模索中です。</p> <p>当日はいくつか出ている活動案を紹介します。</p> <p>出てきた案がいいなと思えたら、</p> <p>一緒に高品質なテストをめざすべく、原因分析道場の門をたたいてください！</p>	